

2016年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)



2016年7月15日(金曜日)

目次

1. 2016年5月期 通期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2017年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2017年5月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

1. 2016年5月期 通期 決算概要

(1)2016年5月期 通期 連結決算概要報告

国内外とも産業分野の設備投資・研究開発投資が緩やかな回復傾向。
スマートフォン関連業界やバ イオ・医療業界向けが好調に推移し増収増益。

【百万円未満切り捨て】

	14/5期 累計実績 (前年同期比)	15/5期 累計実績 (前年同期比)	16/5期			サマリー
			修正予算 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	構成比	
売上高	6,724 (+ 8.6 %)	6,676 (- 0.7 %)	7,400 (+ 10.8 %)	7,466 (+ 11.8 %)	100.0 %	・教育機関、公的機関向け研究開発分野は通期として横ばいで推移。 ・産業分野は、設備投資、研究開発投資の回復傾向を背景に好調に推移 ・米国、欧州、アジア地域は引き続き堅調
営業利益	360 (+ 102.4 %)	435 (+ 20.7 %)	660 (+ 51.7 %)	790 (+ 81.7 %)	10.6 %	・生産効率化により売上原価率を抑制 ・経費削減徹底により販管費率を抑制
経常利益	489 (+ 74.4 %)	555 (+ 13.5 %)	740 (+ 33.2 %)	875 (+ 57.5 %)	11.7 %	・期中の賃貸用不動産のテナント退去により営業外収入が減少
親会社株主に 帰属する 当期純利益	294 (+ 118.8 %)	327 (+ 11.0 %)	470 (+ 43.7 %)	596 (+ 82.5 %)	8.0 %	
1株当たり 当期純利益	39円11銭	43円41銭	62円39銭	79円25銭	—	

※当期実績は、為替レート(期中平均)として、1USドル=120.16円、1人民元=18.88円、1ユーロ=132.36円で計算しております。

1. 2016年5月期 通期 決算概要

(2)セグメント別売上高・営業損益(連結)

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	14/5期	15/5期	16/5期		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	5,699	5,698	6,323	84.7 %	11.0 %
光学基本機器製品	2,046	2,105	2,318	31.1 %	10.2 %
自動応用製品	1,220	1,117	1,320	17.7 %	18.3 %
光学素子・薄膜製品	2,432	2,476	2,684	35.9 %	8.4 %
システム製品事業	1,032	1,000	1,166	15.6 %	16.6 %
光学システム製品	1,032	1,000	1,166	15.6 %	16.6 %
消去	-6	-22	-23	-	-
合 計	6,724	6,676	7,466	100 %	11.8 %

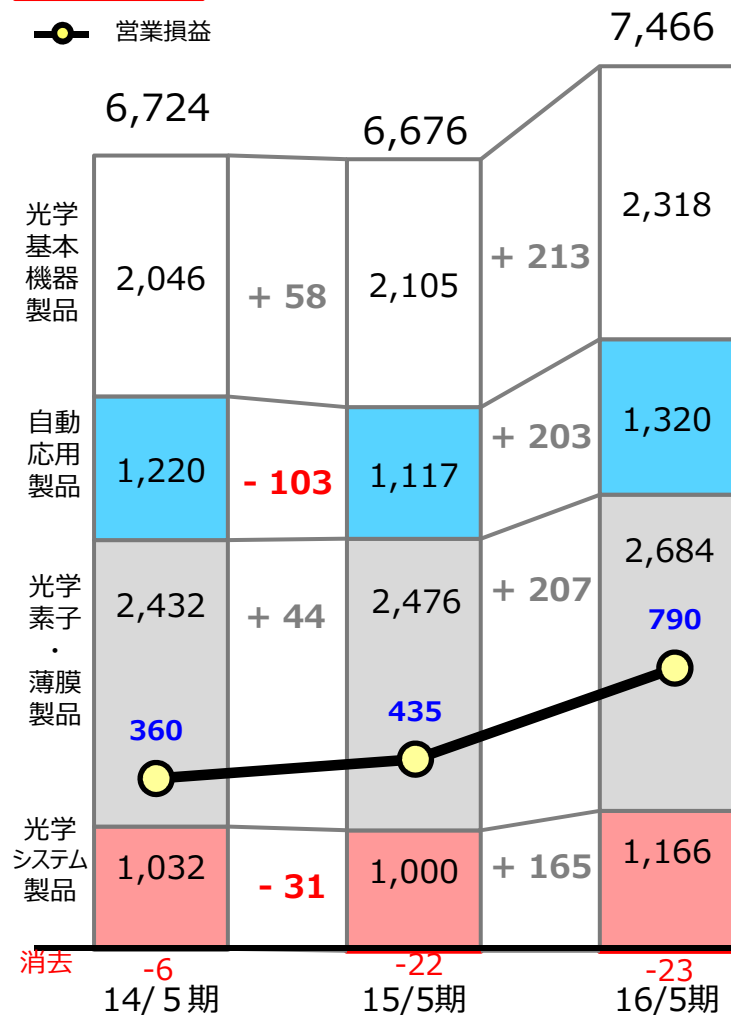
営業損益

【百万円未満切り捨て】

事業区分	14/5期	15/5期	16/5期	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比率
要素部品事業	911	991	1,182	19.3 %
システム製品事業	- 129	- 134	51	-
消去	- 421	- 421	- 443	-
合 計	360	435	790	81.7 %

売上高

【百万円未満切り捨て】



1. 2016年5月期 通期 決算概要

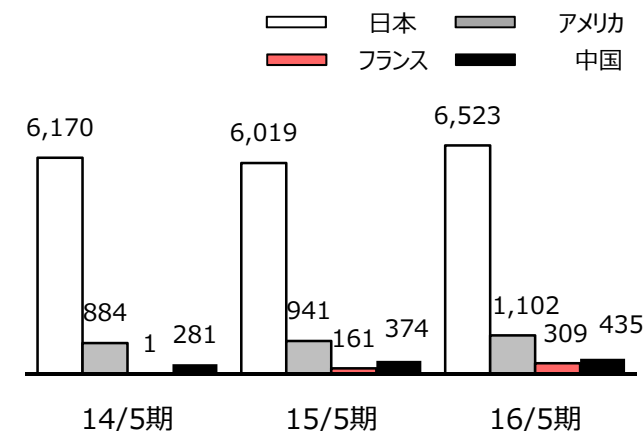
(3)グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

【百万円未満切り捨て】

	14/5期通期累計		15/5期通期累計		16/5期通期累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	6,170	727	6,019	736	6,523	1,000
アメリカ	884	59	941	74	1,102	139
フランス	1	-2	161	-6	309	21
中国	281	-9	374	29	435	48
消去 又は全社	-611	-414	-820	-398	-903	-419
計	6,724	360	6,676	435	7,466	790

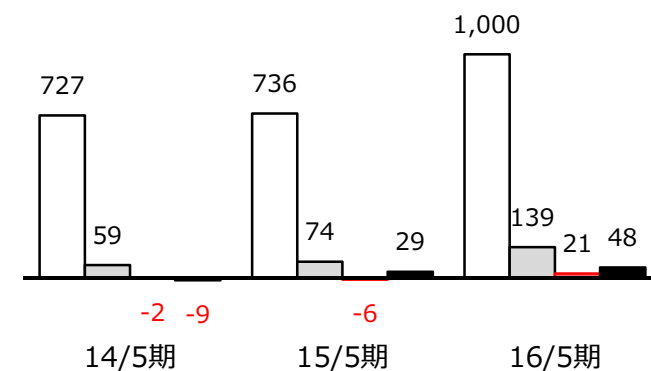
売上高

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



営業損益

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



1. 2016年5月期 通期 決算概要

(4)海外販売先別売上高構成比(連結)

米国・欧州・一部アジアが好調に推移。海外売上高構成比が大幅伸長。

北米地域は、依然堅調な経済情勢を背景に引き続きバイオ・メディカル業界が堅調。
アジア地域は、中国・韓国の一部の携帯端末関連業界と学術系研究開発分野が好調。
欧州地域は、需要が堅調な学術系研究開発分野から産業分野への展開を強化。

【百万円未満切り捨て】

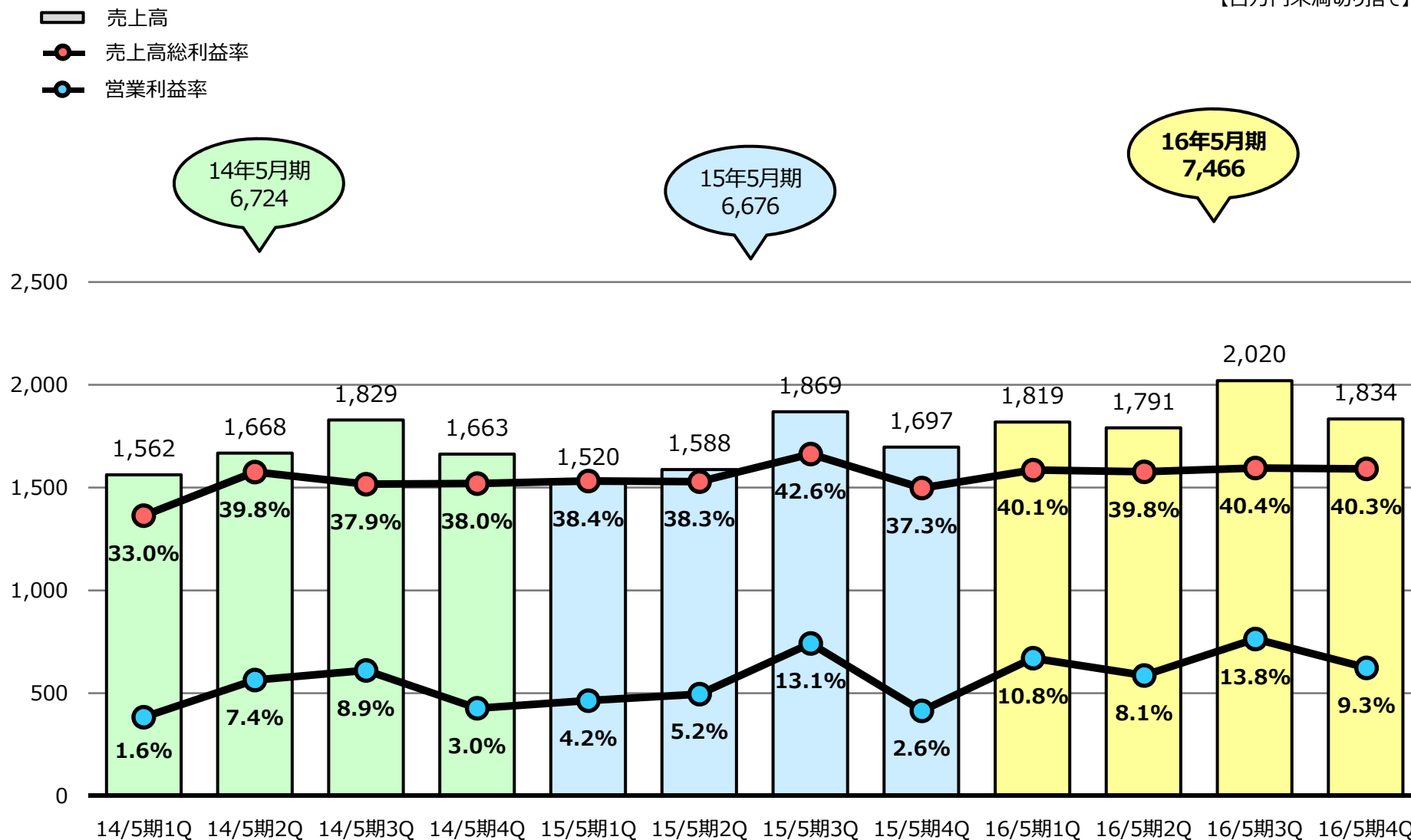
	14/5期	15/5期	16/5期			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	6,724 (100.0%)	6,676 (100.0%)	7,466	100.0 %	11.8 %	
海外売上高	1,546 (23.0 %)	1,719 (25.8 %)	2,103	28.2 %	22.3 %	
北米	683 (10.2 %)	858 (12.9 %)	998	13.4 %	16.4 %	・バイオ、メディカル、美容レーザー業界の組込み用要素部品が引き続き堅調に推移。
アジア・ オセアニア	673 (10.0 %)	626 (9.4 %)	769	10.3 %	22.8 %	・携帯端末市場向けレーザー加工機・検査装置への組込用レンズユニット・自動位置決め装置が堅調
ヨーロッパ	173 (2.6 %)	232 (3.5 %)	301	4.0 %	30.0 %	・教育機関や公的機関での高精度製品ニーズへの対応により認知度向上。産業分野へ展開強化。
その他	15 (0.2 %)	3 (0.0 %)	33	0.4 %	1,013.2 %	

※当期実績は、為替レート(期中平均)として、1USドル=120.16円、1人民元=18.88円、1ユーロ=132.36円で計算しております。

1. 2016年5月期 通期 決算概要

(5)四半期売上高・利益率推移(連結)

【百万円未満切り捨て】



1. 2016年5月期 通期 決算概要

(6)売上原価の状況(連結)

生産工程の効率化等により、売上原価率は前年同期比0.9pt改善。

売上高の増加に伴い材料仕入、外注加工費等が増加も、内製化等の生産効率化と労務費の増加率の抑制等の結果、売上原価率は前年同期比で0.9pt改善。

【百万円未満切り捨て】

	14/5期		15/5期		16/5期			サマリー
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	6,724	100.0 %	6,676	100.0 %	7,466	100.0 %	11.8 %	
材料費等	2,388	35.5 %	2,256	33.8 %	2,596	34.8 %	15.1 %	・売上高の増加に伴い材料仕入等が増加
労務費	1,400	20.8 %	1,383	20.7 %	1,425	19.1 %	3.1 %	・生産工程効率化により残業時間を圧縮 ・収益向上による賞与支給額の増加
減価償却費	290	4.3 %	273	4.1 %	256	3.4 %	- 6.2 %	
その他	138	2.1 %	139	2.1 %	188	2.5 %	35.4 %	
売上原価	4,218	62.7 %	4,052	60.7 %	4,467	59.8 %	10.2 %	・売上高の前年同期比の増加率を下回る増加率で推移
売上総利益	2,506	37.3 %	2,623	39.3 %	2,999	40.2 %	14.3 %	

1. 2016年5月期 通期 決算概要

(7)販売管理費の状況(連結)

全社的な経費削減活動により販管費率は前年同期比で3.2pt減少。

積極的な営業活動に伴い販売促進費、旅費交通費等の販売費は増加。
全社的な経費削減を推進して、売上高増加率に対して販管費増加率を大幅抑制。

	14/5期		15/5期		16/5期			【百万円未満切り捨て】
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	サマリー
売上高	6,724	100.0 %	6,676	100.0 %	7,466	100.0 %	11.8 %	
販売促進費	342	5.1 %	324	4.9 %	345	4.6 %	6.7 %	・企業内展示会(PV展)向けのデモ機材の拡充
広告宣伝費	110	1.7 %	86	1.3 %	82	1.1 %	- 4.1 %	・カタログ配布の減少 ・ドイツ展示会等の展示会出展費用の増加
人件費	803	11.9 %	803	12.0 %	879	11.8 %	9.5 %	・収益向上による賞与支給額の増加 ・海外子会社の人員の増員、賃金の上昇
減価償却費	54	0.8 %	59	0.9 %	60	0.8 %	2.0 %	
試験研究費	313	4.7 %	396	5.9 %	307	4.1 %	- 22.5 %	・開発対象案件の絞り込み
その他	520	7.7 %	519	7.8 %	533	7.1 %	2.6 %	・水道光熱費、通信費の減少 ・支払手数料の減少 ・租税公課（外形標準課税）の増加
販売管理費	2,145	31.9 %	2,188	32.8 %	2,208	29.6 %	0.9 %	
営業利益	360	5.4 %	435	6.5 %	790	10.6 %	81.7 %	

1. 2016年5月期 通期 決算概要

(8) バランスシート概要(連結)

	14/5期	15/5期	16/5期		【百万円未満切り捨て】
	通期	通期	通期	前期末比	サマリー
現金・預金	2,707	2,824	2,875	1.8 %	
受取手形・売掛金	1,908	1,905	1,897	- 0.4 %	
電子記録債権	73	119	172	44.5 %	
棚卸資産	1,764	2,017	2,186	8.4 %	・短納期対応の規格品在庫の増加 ・中量ロット案件対応の材料費の増加
その他流動資産	510	562	876	55.9 %	・有価証券(短期金銭信託)の増加
有形・無形固定資産	3,219	3,170	3,010	- 5.0 %	
投資等	3,443	3,367	3,328	- 1.2 %	
資産合計	13,627	13,966	14,347	2.7 %	
支払手形・買掛金	763	811	927	14.3 %	
短期借入金	180	233	183	- 21.5 %	
その他流動負債	642	460	661	43.7 %	・未払法人税の増加
長期借入金	198	186	66	- 64.5 %	・借換タイミングによる減少
その他固定負債	719	765	835	9.2 %	
純資産合計	11,123	11,510	11,673	1.4 %	
負債・純資産合計	13,627	13,996	14,347	2.7 %	

1. 2016年5月期 通期 決算概要

(9)キャッシュフロー概要(連結)

【百万円未満切り捨て】

	14/5期 通期累計	15/5期 通期累計	16/5期 通期累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	1,005	431	995	・税金等調整前当期純利益、減価償却費による増加 ・棚卸資産の増額による減少 ・法人税等の支払いによる減少
投資活動	- 145	- 209	- 467	・有価証券の増加による減少 ・有形無形固定資産の取得のための支出による減少
フリーキャッシュフロー	860	226	527	
財務活動	- 125	- 185	- 396	・借入金の調達の減少による減少 ・配当金の支払いによる減少
現金及び 現金同等物の期末 残高	2,450	2,616	2,650	

目次

1. 2016年5月期 通期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2017年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2017年5月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

◆スローガン（2015年から継続）

**「アジアNo. 1」から
「世界No. 1」へ**

◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

レーザを活用した学術研究や生産技術の高度化により、
耐環境・高安定・高耐力等の光学製品へのニーズが多様化

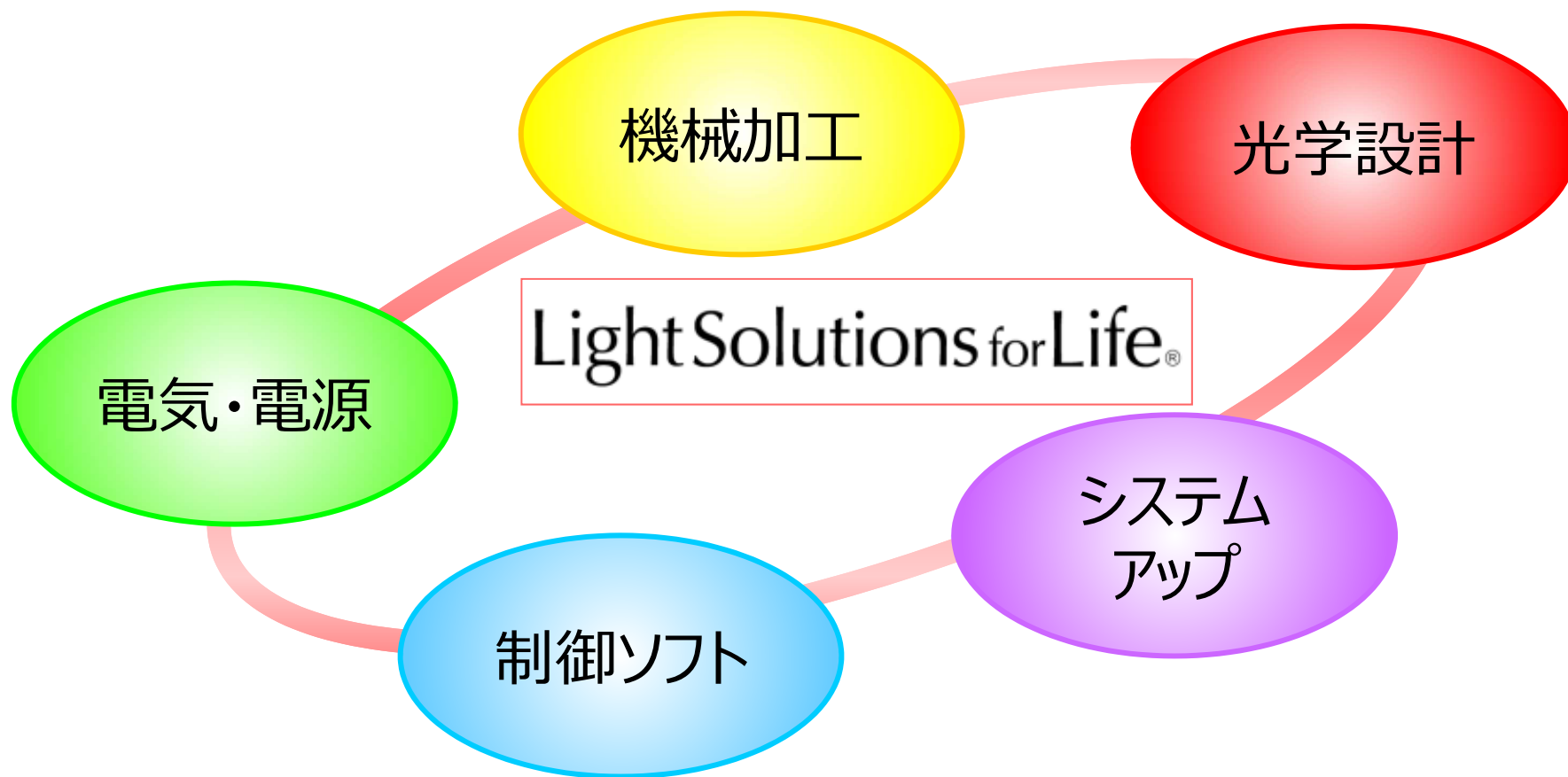


「光ソリューション・カンパニー」

Light Solutions for Life®

「光ソリューション・カンパニー」

中核技術の複合・融合・拡張



更なる収益力の向上に向けて 足場を固め、将来の成長へ仕込む

営業力 UP



- 成長産業分野と先端技術R&D分野の開拓・深耕
- 生産・販売・開発が連携したソリューション提案力
- 海外拡販体制の整備に向けた販売チャネルの強化

生産力 UP



- 技術融合製品の生産工程と量産体制の確立
- 生産技術高度化による内製化と生産工程の圧縮
- 外部調達コストの抑制と適正な仕込みと在庫管理

開発力 UP



- 先端技術・高難度チャレンジ案件の取り込み
- 社内外リソースのフル活用による開発加速・精度向上
- 中核技術を複合・融合したオンリーワン製品の開発

2. 2017年5月期 通期見通し (5)2017年5月期通期計画(連結)

不透明な市場環境の中、将来の成長に向けた投資計画により増収減益

為替と資源価格の変動等に起因する企業収益動向の不透明感から伸び率は弱含みも、ターゲットとなる産業分野での設備投資は堅調であり受注動向は底堅く推移すると見込む。その反面、為替動向の影響や人員の増員や設備増強等の推進により増収減益と予想。

【百万円未満切り捨て】

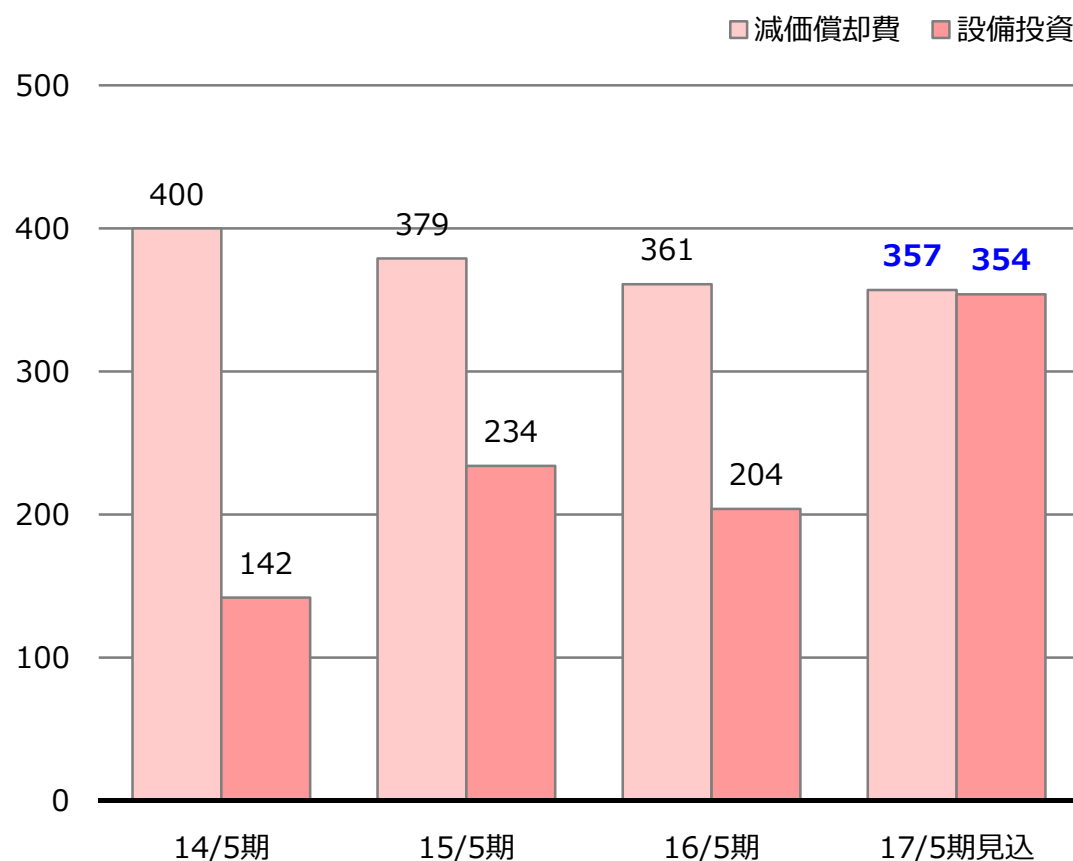
	15/5期		16/5期		17/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差異 (金額)	(増減率)
売上高	6,676	100.0 %	7,466	100.0 %	3,630	3,995	7,625	100.0 %	158	2.1 %
営業利益	435	6.5 %	790	10.6 %	320	430	750	9.8 %	- 40	- 5.1 %
営業利益率	6.5 %	—	10.6 %	—	8.8 %	10.8 %	9.8 %	—	—	—
経常利益	555	8.3 %	875	11.7 %	335	450	785	10.3 %	- 90	-10.3 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	327	4.9 %	596	8.0 %	215	295	510	6.7 %	- 86	-14.5 %
1 株当り 当期純利益	43円41銭	—	79円25銭	—	28円54銭	—	67円70銭	—	—	—

※当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として、1USDドル=108.00円、1人民元=16.00円、1ユーロ=118.00円で計算しております。

2. 2017年5月期 通期見通し (6)投資・減価償却費見込み(連結)

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

◎ 主要設備投資

○ 14/5期

- ・情報システム投資 0.3億円
- ・光学素子設備増強投資 0.2億円

○ 15/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.3億円
- ・販促用デモ器投資 0.3億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円

○ 16/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.5億円

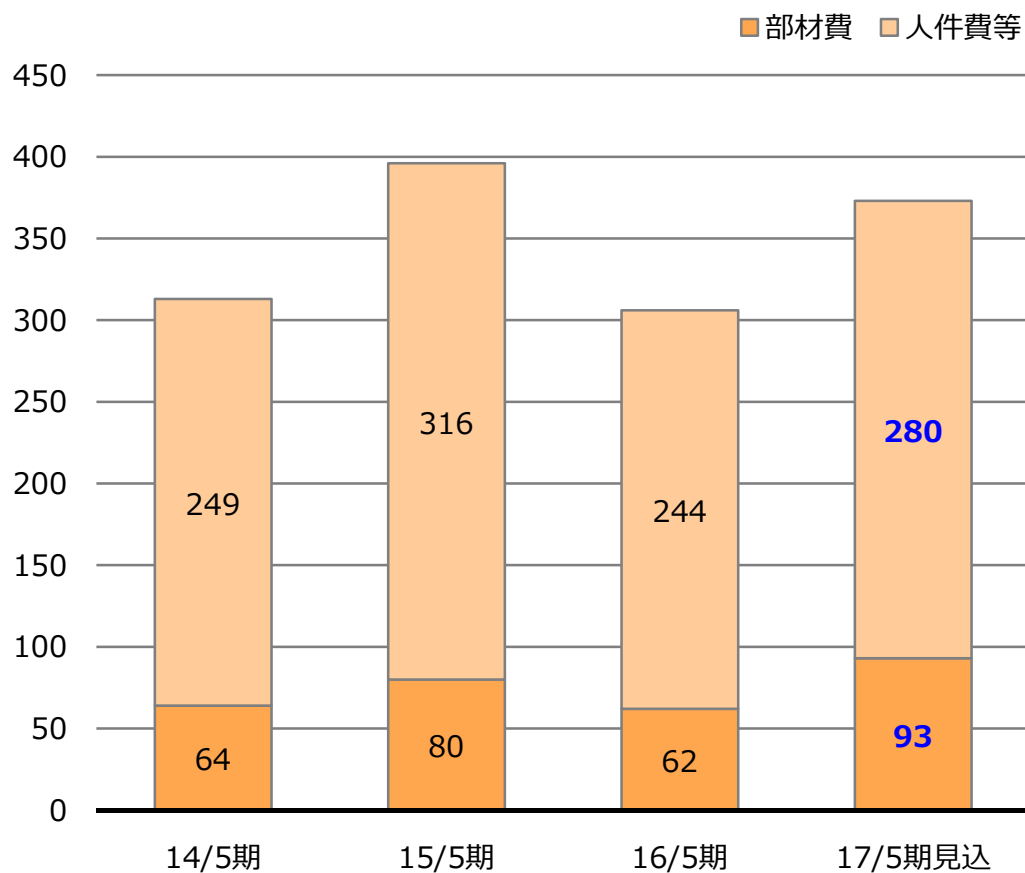
○ 17/5期

- ・光学素子設備増強投資 1.0億円
- ・基本機器設備増強投資 0.5億円
- ・研究開発設備投資 0.3億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.4億円

2. 2017年5月期 通期見通し (7)研究開発費見込み(連結)

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

○部材費

	自社	産学官連携
14/5期	59	5
15/5期	73	7
16/5期	59	3
17/5期見込	93	0

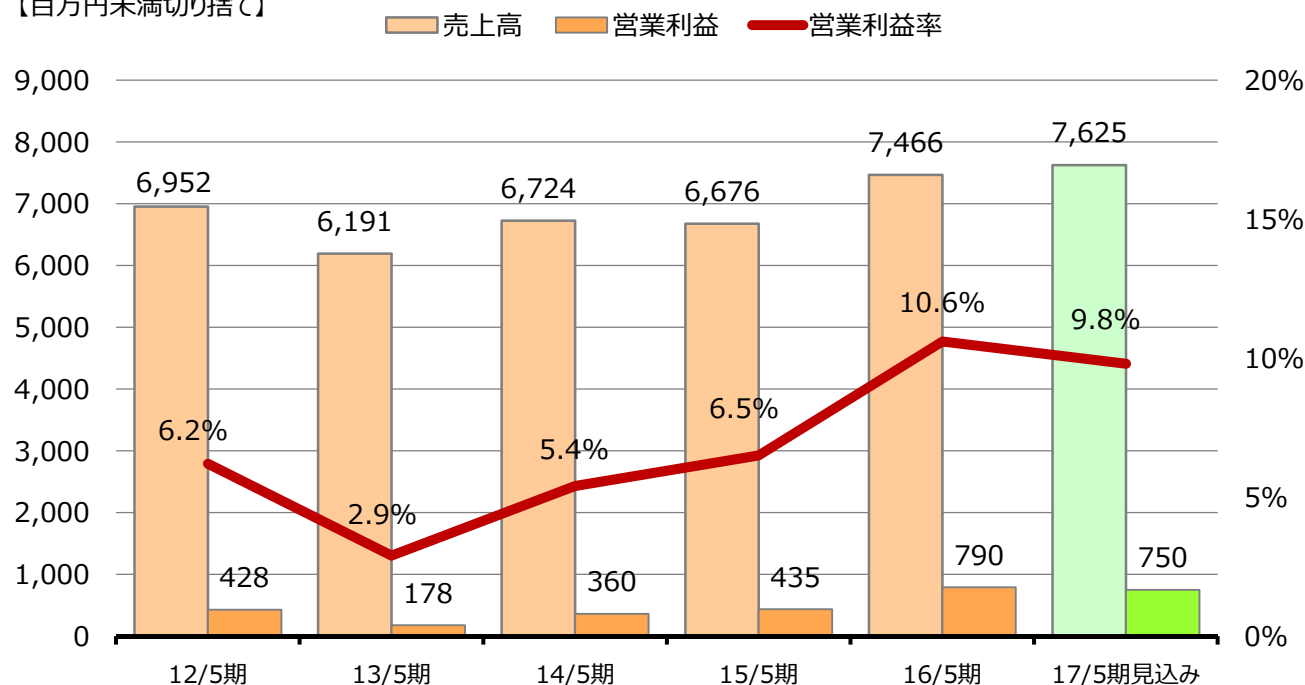
○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
14/5期	249	4.7%
15/5期	316	5.9%
16/5期	244	4.1%
17/5期見込	280	4.9%

2. 2017年5月期 通期見通し

(8)売上高・営業利益・営業利益率予想(連結)

【百万円未満切り捨て】



2017年5月期サマリー

①売上高の増加

- 産業分野の投資意欲は底堅い
- 海外市場での売上は堅調

②売上原価率の維持

- 材料仕入・外注費率の圧縮
- 設備導入・改修による増加

③販売管理費の増加

- 試験研究費の増加
- 広告宣伝費の増加

<販売展開の強化>

- 広告宣伝費（Web改修）の増加
- 旅費交通費（海外展開）の増加
- 試験研究費（開発強化）の増加

* 強固な財務体質を堅持（連結）

- ①自己資本比率 15/5期： 82.1% → 16/5期： 81.0%
- ②利益剰余金 15/5期： 5,543百万円 → 16/5期： 5,914百万円
- ③純有利子負債 15/5期： ▲2,405百万円 → 16/5期： ▲2,626百万円

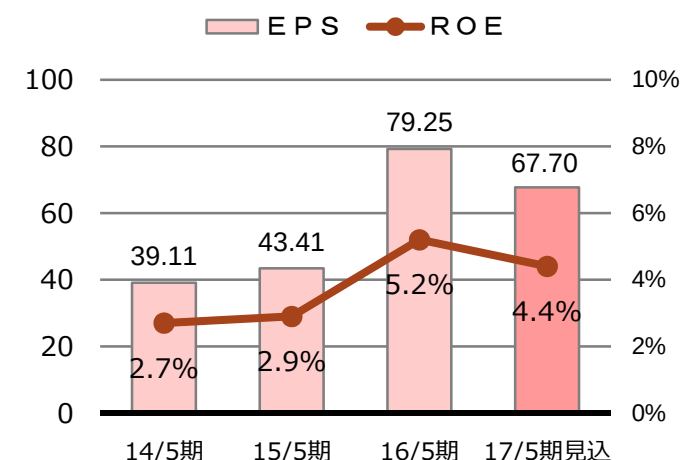
2. 2017年5月期 通期見通し

(9)収益性分析の概要

連結EPS・ROE

	14/5期 通期	15/5期 通期	16/5期 通期	17/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	294	327	596	510
1株当たり 当期純利益（円）（EPS）	39.11	43.41	79.25	67.70
自己資本 当期純利益率（%）（ROE）	2.7	2.9	5.2	4.4

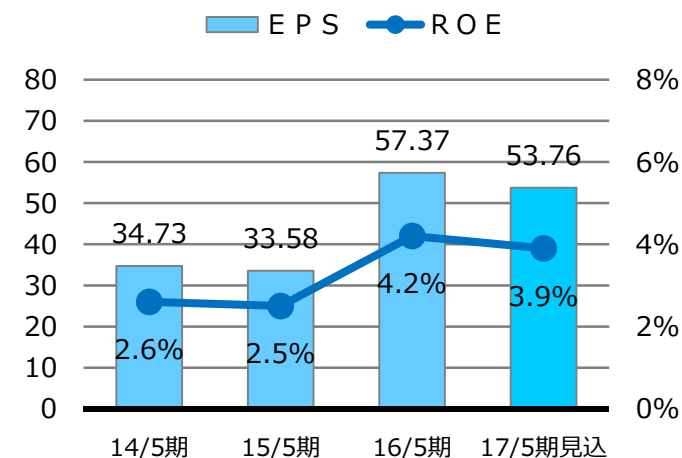
【単位：円】



単体EPS・ROE

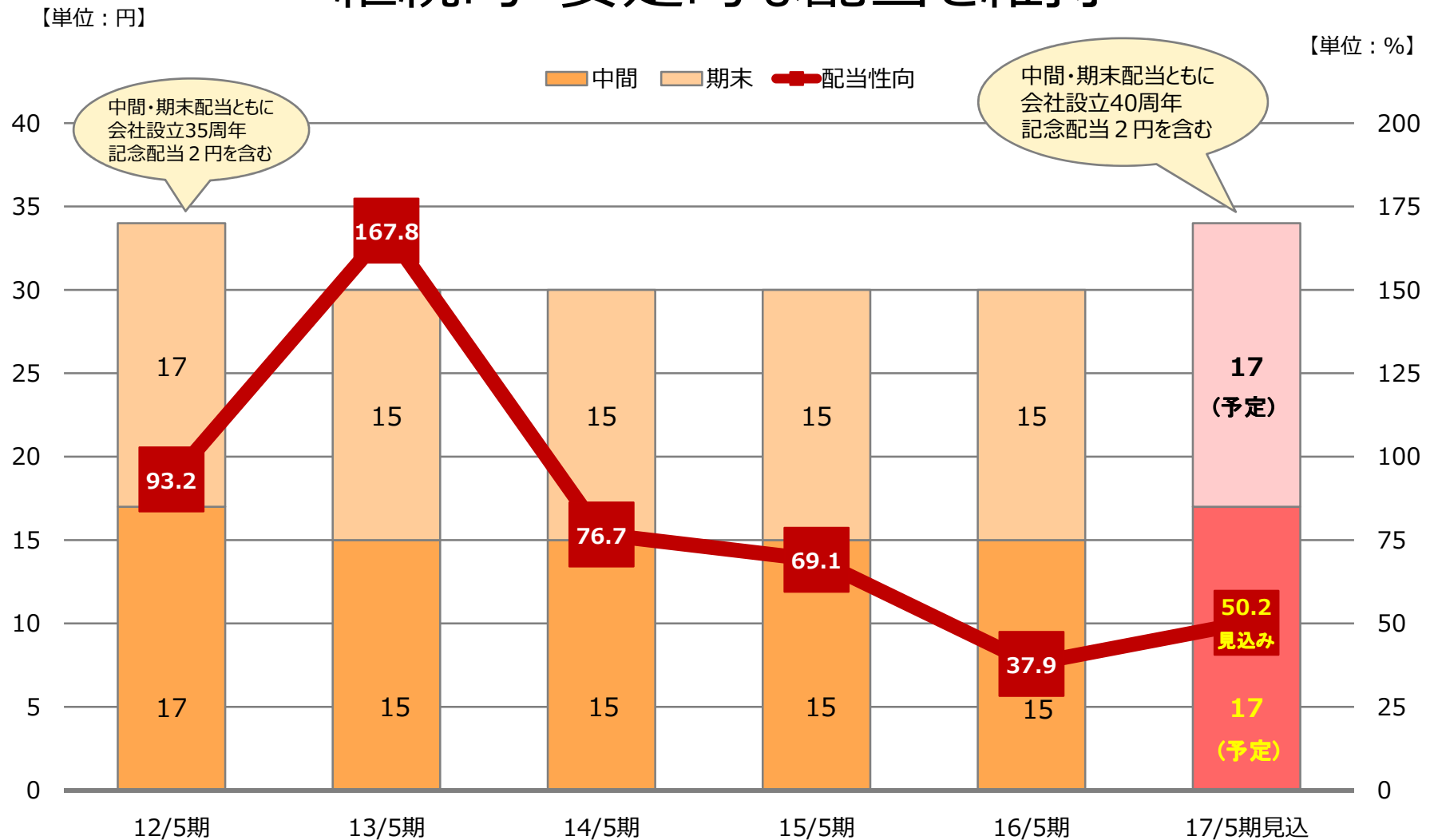
	14/5期 通期	15/5期 通期	16/5期 通期	17/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	261	252	432	405
1株当たり 当期純利益（円）（EPS）	34.73	33.58	57.37	53.76
自己資本 当期純利益率（%）（ROE）	2.6	2.5	4.2	3.9

【単位：円】



2. 2017年5月期 通期見通し (10)配当金推移

継続的・安定的な配当を維持



目次

1. 2016年5月期 通期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2017年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2017年5月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

■ 官公庁・研究機関：『お客様の欲しいを形に製品』群、No.1 Products

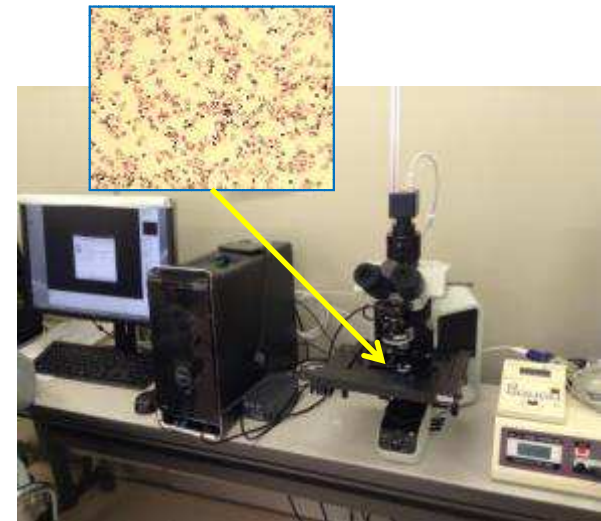
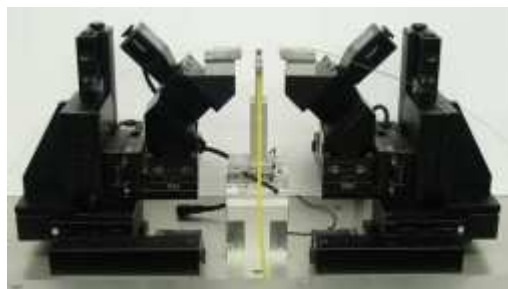
■ スマートフォン関連：対物レンズ、加工鏡筒、小型アクチュエータ



■ バイオ・メディカル関連：細胞カウント装置、蛍光観察測定装置

■ 通信関連：導波路調芯装置

■ 国家PJ関連：スーパーミラー等



①リピート・OEM・ODM受注増加

- ・特注品の仕様・価格・短納期対応でお客様が要求するリピート製品実現
- ・PV展にて積極的に実機紹介、製品ブラッシュアップ、新規案件創出

②チャレンジ案件(オンリーワン製品)の獲得

- ・国家PJ等高難易度案件の概算見積・仕様のカウンタープロポーザル短縮
- ・開発部・生産本部技術者同行対応でソリューション提案

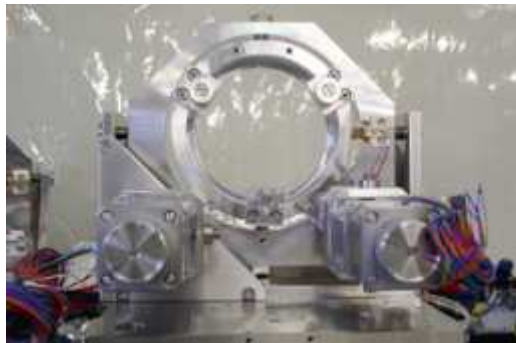
③新規潜在顧客層開拓による受注ベース底上げ

- ・競合他社を上回るUsabilityなWebへVer.UP
- ・新製品、各種キャンペーンをWeb等でタイムリーに情報提供

- お客様の事業所や研究室を訪問し開発設計、購買部門に新製品や当社特注対応力を説明しお客様のneeds・wants案件を創出



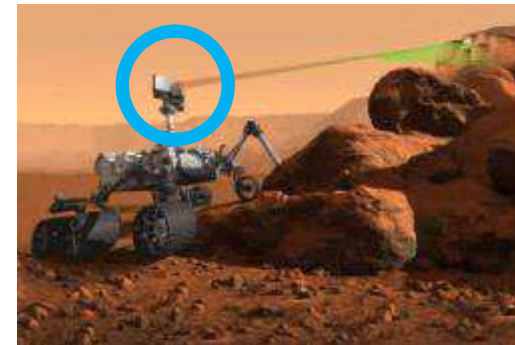
- 国内・海外から当社技術力に期待した高難易度案件の
国家PJ入札案件等の引合を頂戴し製品を具現化



高真空ミラーホルダー

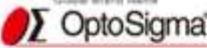


光共振器用スーパーミラー



NASA/CNES「[Mars2020計画](#)」
火星探査機搭載予定の
[SuperCam検出器組込特注Optics](#)
(ミラー、ダイクロイックミラー、レンズ等)

(2-③) UsabilityなWebへVer.UP

 <http://www.global-optosigma.com/>



**EU・ロシア
中東・トルコ
アフリカ**

**中国・台湾・韓国・東南アジア
インド・オセアニア**

**北米
中南米**

COMPANY GUIDE

PRODUCTS INFORMATION

COMPANY GUIDE

▶ JAPANESE ▶ ENGLISH ▶ CHINESE

PRODUCTS INFORMATION

▶ JAPANESE ▶ ENGLISH ▶ CHINESE

COMPANY GUIDE

PRODUCTS INFORMATION

(3)海外マーケット概況

■ アジア地域（特に中国）

- ・スマホ生産関連活発化、当社第2Qにかけて一波くる予測
- ・中国政府はハイテク研究に重点投資、中国大学官公庁から新規レーザ研究向けで当社カタログ規格品の大口引合増加

■ 北米地域

- ・バイオ、メディカル、セミコン関連のOEM製品のリピート好調

■ EU圏

- ・国家PJ 等の大口・高難易度チャレンジ案件の引合増加

※欧米でUsabilityなWebコンテンツ制作中 ⇒ 受注ベース底上げ

第42期6月 受注好調発進

①スマホ設備投資の恩恵

対物レンズ、加工鏡筒、小型アクチュエータ



②中国大学官公庁の 新規研究室開設の恩恵

超クリーン（真空）環境用ステージ、ハイパワー光学素子＋ベース・ホルダー等
規格品の纏まった大口引合継続



③防衛関連リピート案件

目次

1. 2016年5月期 通期 決算概要
管理本部経理部長 石井 康之
2. 2017年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
取締役管理本部長 菊池 健夫
3. 2017年5月期 営業戦略
営業本部長 東山 秀行
4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。